



国連大学サステナビリティ高等研究所主催の SDGs セミナーに登壇しました (2022/9/16)

テーマ：誰一人取り残さない (leave no one behind)、防災、インクルージョン、SDGs

会場：オンライン (zoom ウェビナー)

URL：<https://ouik.unu.edu/events/6083>

<https://ias.unu.edu/jp/news/news/sdgs-cafe-event-promotes-inclusive-disaster-risk-management.html>

<https://ias.unu.edu/en/news/news/sdgs-cafe-event-promotes-inclusive-disaster-risk-management.html>

2022年9月16日(金)、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティングユニット(UNU-IAS OUIK: United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability Operating Unit Ishikawa/Kanazawa)が主催する、持続可能な開発に関するセミナー「第20回SDGsカフェ：『インクルーシブ防災』～誰も取り残さない防災について考えよう～」が開催され、当研究所の原裕太助教(2030国際防災アジェンダ推進オフィス)が登壇しました。

第一部では原助教が、防災士でほくりくアイドル部キャプテン、いしかわ観光特使を務める松井祐香里氏、石川県の災害リスクや防災に詳しい金沢大学の青木賢人准教授(自然地理学)に続いて講演し、「インクルーシブ防災ってなんだろう？」をテーマに話題提供しました。具体的には、ダイバーシティ&インクルージョンならびにインクルーシブ防災の概念を紹介するとともに、高齢者、障がい者、子ども、女性・妊産婦、外国人、性的少数者(LGBTQ+)など、様々な脆弱性を持つ人々が災害時に実際に避難所で直面した課題について、聞き取り調査に基づく知見を紹介しました。また、インクルーシブ防災を実践するためには、多様な人々がそれぞれ異なる課題を抱えていることを知り、「誰一人取り残さない」ための対策を講じていくことが重要であることを強調しました。さらに、SDGs・2030アジェンダの枠組みと防災、インクルージョンの関係や、防災を含む課題間の相互関係に触れつつ、石川県や金沢市でインクルーシブ防災を進めていく上でのアドバイスをを行いました。

第二部では国連大学の富田揚子氏を進行役に、講演者を交えてパネルディスカッション、質疑応答が行われました。パネルディスカッションでは、実際に災害が起きる前の段階から異なる立場の人々の多様な声に耳を傾け、様々な人々の声を防災計画の策定に反映していくことの重要性が指摘されました。また、「今、金沢で災害が起こったらどうなるか?」、「必要なサポートを早く届けられるようにICTを使ったシステムはできないか?」など、時間いっぱいまで参加者から多くの質問があり、盛況のうちにセミナーは終了しました。



セミナーのテーマ



セミナーの様子

文責：原 裕太 (2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)